

# 磯野 誠

ISONO, Makoto



教授

所属…経営学部 経営学科  
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

URL [www.makotoisono.com](http://www.makotoisono.com)

E-mail [m-isono@kankyo-u.ac.jp](mailto:m-isono@kankyo-u.ac.jp)

## Profile

<b>主な担当科目</b>	(学部)マーケティングⅡ, 商品開発論, ブランド論 (大学院)マーケティング特論, リサーチデザイン特論
<b>研究者略歴</b>	
1990 (平成 2) 年 3月	千葉大学工学部工業意匠学科卒業、工学士 (ID)
2004 (平成16) 年 9月	神戸大学大学院経営学研究科専門職学位課程現代経営学専攻修了、経営学修士 (専門職)
2008 (平成20) 年 3月	神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程現代経営学専攻修了、博士 (商学)
1991 (平成 3) 年 9月	横河電機株式会社 (~ 1999年11月)
2000 (平成12) 年 2月	Procter & Gamble Far East Inc. (~ 2009年6月)
2007 (平成19) 年 3月	The Procter & Gamble Company (OH, USA) 出向 (~ 2008年6月)
2009 (平成21) 年 2月	神戸大学大学院経営学研究科研究員 (~ 2011年1月)
2009 (平成21) 年10月	九州共立大学経済学部准教授 (~ 2012年3月)
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学経営学部経営学科准教授
2013 (平成25) 年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科准教授、大学院環境情報学研究科環境情報学専攻准教授
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部経営学科教授、大学院環境経営研究科経営学専攻教授

## Research

<b>取得学位</b>	博士 (商学) (神戸大学)
<b>専門分野</b>	マーケティング, 新製品開発, ブランド, デザイン
<b>現在の研究テーマ</b>	・新製品・サービスのアイデア開発における創造性 ・地域創生のためのマーケティング
<b>所属学会</b>	日本マーケティング学会、日本消費者行動研究学会、日本商業学会、オペレーションズ・マネジメント&ストラテジー学会

## Data

<b>研究等活動</b>	
<b>【著書】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地方創生のための経営学入門」(共編著)、2019年、今井出版。</li> <li>「新製品コンセプト開発におけるデザインの役割」、2014年、丸善出版。</li> <li>「アイデアの意図と魅力を考える」(共著)、2013年、ふくろう出版。</li> </ul>
<b>【論文】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「創造的視覚化を活用する新製品コンセプト開発」、2011年、『季刊マーケティング・ジャーナル』、Vol.120, pp.43-58。</li> <li>「新製品開発とデザイン」、2008年、『季刊マーケティング・ジャーナル』、Vol.109, pp.91-100。</li> </ul>
<b>【Proceedings】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>"From Vision to Idea: The Cognitive Process of Vision-Driven Idea Development," 2018 The Proceedings of 25th International Product Development Management Conference.</li> <li>「新製品アイデア開発における文脈想像の性質と働き」、2017年、『日本マーケティング学会カンファレンス・プロシーディングス』、Vol.6, pp.158-167.</li> <li>「新製品アイデア開発における視覚化と複数アイデア創出の効果」、2014年、『日本マーケティング学会カンファレンス・プロシーディングス』、Vol.3, pp.85-96。</li> <li>「新製品アイデア開発におけるアナロジーと視覚化活用の効果」(共著)、2013年、日本商業学会第63回全国大会報告論集、pp.69-72。</li> <li>"The 'Build to Think' Orientation - When an Organization Uses Design for Their Concept Development," 2011年、The Proceedings of 18th International Product Management Conference, p.157.</li> <li>"New Product Concept Development for High Turnover Retail Assortment," 2009、The Proceedings of 5th Asia Retail Conference.</li> <li>"The Role of Design in New Product Concept Development," 2009、The Readingsbook of Global Business And Technology Association 11th Annual International Conference, pp.553-564.</li> </ul>
<b>【紀要】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「顧客のフロー体験と感動、満足、ロイヤルティとの関係」、2017年、『公立鳥取環境大学紀要』、15号、pp.19-29。</li> <li>「新製品アイデア開発におけるイマジネーション活用の効果」、2016年、『公立鳥取環境大学紀要』、14号、pp.26-39。</li> <li>「いかに市場機会を特定するか—新製品開発FEフェーズ研究レビュー—」、2015年、『鳥取環境大学紀要』、13号、pp.41-57。</li> <li>「中山間集落住民にとっての買い物物の意義—買い物行動の快乐的側面を含めた検討—」、2015年、『鳥取環境大学紀要』、13号、pp.129-138。</li> <li>「大学教育成果としての学生自己成長感」(共著)、2012年、『九州共立大学研究紀要』、2(2)、pp.25-38。</li> <li>「大学におけるバランス・スコアカード経営の可能性」(共著)、2012年、『九州共立大学研究紀要』、2(2)、pp.45-61。</li> <li>「購買起点ニーズ」を仮定する新製品コンセプト開発、2011年、『九州共立大学研究紀要』、2(1)、pp.25-40。</li> </ul>
<b>【報告書】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「石垣島サンゴ礁保全活動を対象としたCRM成功要因としての提携先企業の消費者知覚の特徴」、2012年、横川洋編、『赤土GAP・環境支払い・協働原則のミックスによる赤土等流出防止プログラムの形成』、pp.31-42。</li> </ul>
<b>社会貢献活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業マネジメント職向けデザインマネジメント・セミナー講師 (ネスレ日本、等)</li> <li>地域経営者向けマーケティング・セミナー講師 (公立鳥取環境大学公開講座、鳥取県東部西商工会産業支援センター主催、等)</li> <li>自治体職員のためのマーケティング研修講師 (全国市町村国際文化研修所: 2017-; 鳥取県: 2015-)</li> <li>鳥取県の民芸・伝統工芸の次世代のための研修会講師 (2015-2017)</li> <li>放送大学面接授業講師 (2016)</li> <li>鳥取県農工商連携促進ファンド事業審査委員会 (2017-); 鳥取県消費生活審議会委員 (2015-)</li> <li>第28回中国五県高等学校生徒商業研究発表大会審査員長(2014)</li> </ul>